

## 事業実績シート

### 1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	コフスハーバー市との青少年交流事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	佐世保市	企画部 国際政策課	大山	0956-25-9647
事業期間	開始年	豪州コフスハーバー市(姉妹都市) 平成16年～		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[                      ]			
実施期間	派遣：平成28年8月4日(月)から平成28年8月14日(日) 受入：平成28年12月10日(土)から平成28年12月17日(土)			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
(委託内容)				
助成事業の目的 <small>※住民視点を踏まえて記載してください。</small>	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	佐世保市の青少年・市民、姉妹都市等(コフスハーバー市)の青少年・市民		相互の短期ホームステイを通して、本市と海外姉妹都市等の文化を体験し、国際理解の促進、友好親善の深化を図る。	
助成事業の具体的内容 <small>※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。</small>	平成28年8月には佐世保市の生徒が豪州コフスハーバー市を訪問し、コフスハーバー市生徒宅にホームステイしながら、学校の授業やイベントなどに参加して異文化交流を行った。また、平成28年12月には、コフスハーバー市生徒が佐世保市生徒宅にホームステイし、同じく学校の授業やイベントなどに参加して異文化交流を行った。そのほか、それぞれ滞在先で観光地見学や体験学習を行うことで、相互理解や友好親善を深めた。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	佐世保市は、豪州コフスハーバー市と1988年に姉妹都市を提携。それぞれの都市との間で相互理解や友好親善を深めるため、市民レベルでの交流として青少年による相互ホームステイ事業を開始したもの。			
(経緯・現状)				
佐世保市と各都市との市民レベルにおける交流の一つとして、中学生同士の相互ホームステイによる交流事業が始まった。コフスハーバー市とは平成16年7月に開始し、今回で12回目となった。参加生徒の多くが、国際的視野を持つとともに、現在の学校生活に前向きに取り組むようになるなど、学校や保護者からの評価も高い。なお、一昨年度までは参加人数をそれぞれ3名ずつとしていたが、昨年度から5名に増加している。				

## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費(円)		909,986	1,183,025	1,303,690					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	727,988	946,420	1,042,952					
	一般財源	181,998	236,605	260,738					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度	
	①	姉妹都市等の生徒・市民、行政関係者との交流人数	姉妹都市等の中学校生徒達が直接会って交流することが、相互理解を深める契機となるため	人	目標	30	50	50	
					実績	44	80	60	
				目標達成率(%)	146%	160%	120%		
	②					目標			
						実績			
						目標達成率(%)			

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需(+) 
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 姉妹都市等の中学校生徒達が直接会って交流することができなくなり、国際理解を深めていくことが難しくなる。
	妥当性低い                      妥当性高い (-)                      0                      (+) 		

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		姉妹都市等の中学校生徒達が相互理解を深めるため、積極的に各種の交流を行った。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期 日	平成 29 年 度	事業終了後に、コフスハーバーの生徒を受け入れた保護者や学校側から、受入期間延長の提案があった。期間をさらに長くすることで、交流の広がりや深まりが期待できるため、来年度は相手方と協議しながら検討していきたい。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		姉妹都市等の生徒受入れについては、将来的に関係する市民団体への共催化などを検討していく。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		本市生徒の派遣において、生徒から受益者負担として旅費等の半額を徴収している。	

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	<p>本事業は海外姉妹都市等と本市の青少年が、相互にホームステイをしながら学校行事や観光地見学、体験学習等を行う中で交流を深めていくことを目的としている。実施後のアンケート結果等によれば、生徒たちは参加する中で、国際的視野を持つとともに、進路についても、国際的な視野から意識が高まったなど、学校や保護者からの評価も高い。またホスト家族や学校にとっても異文化との交流を行う貴重な機会となっている。こうしたことをかんがみて、今後も姉妹都市等と連携し、有効性が一層向上するように事業を進めていきたい。</p> <p>改善策としては、今年度から参加中学生に国際理解を深めてもらうため、派遣時のシドニー市内見学の期間を、昨年までの半日から一日に拡大している。また、受入終了後の意見交換会で、佐世保市側参加者の保護者や学校関係者から、受入期間の延長が提案されたため、今後の改善案として、来年度以降は、相手側との協議を行いながら検討していきたい。</p>				